

ドローンシェアリングシステム (DSS) の 導入支援サービス

高効率で省力化のツールとして有効なドローン農作業機と、空撮したデータの活用を生産者グループでシェア(共同利用)できる仕組み(DSS)の導入をご支援するサービスです。

提供者

ドローン・ジャパン株式会社 & 株式会社つじ農園

令和3&4年度「農水省スマート農業実証プロジェクト」での実証(詳細は右記 QR コードより参照)



対象者

- ・ 地域集落営農を取りまとめている方
- ・ 地域農業技術の普及員、営農指導員

サービスの内容

- ・ DSS アプリ(ドローンパイロットの手配・作業進捗確認・営農支援)
- ・ ドローンの導入支援および運用トレーニング
- ・ アフタートレーニングおよびサポート



メリット

- ・ 購入や委託と比べ低いコストでドローンを利用可能(30,000円/ha → 17,500円/ha)
- ・ ドローンの操縦は専門のパイロットが行うため、農業者の時間は取られません
- ・ 空撮したデータを活用し、作業体系を導入

DSS グループの規模単位(目安)

1 グループの想定規模は、合計 100ha 程度

例) 生産者 5 名、パイロット 5 名を 1 グループとして実施

導入に際し必要なコト

- ・ 事務局の設置
機材およびオペレータの管理運営・生産者との連絡
- ・ 営農コンサルタントとの連携
地域での営農指導員や農業普及員

導入フロー



高額で複雑なスマート農業機器をシェアすることで
生産者のコスト負担を軽減



みんなで使えば安くなる

ドローンを使った農業技術を連動させて効果を得る

- a) 生育観察(リモートセンシング)のドローン
- b) 散布作業のドローン



観察 ⇒ 作業 で農作業の最適化

お米の追肥作業の場合のデータ活用例

撮影する
リモートセンシングドローンで広域撮影

生育
観察

一度のフライトでまとめて広域撮影
2日間程度で解析可能

作業判断
解析情報(数値・色)と現場情報をもとに追肥の要否判断

助言
判断

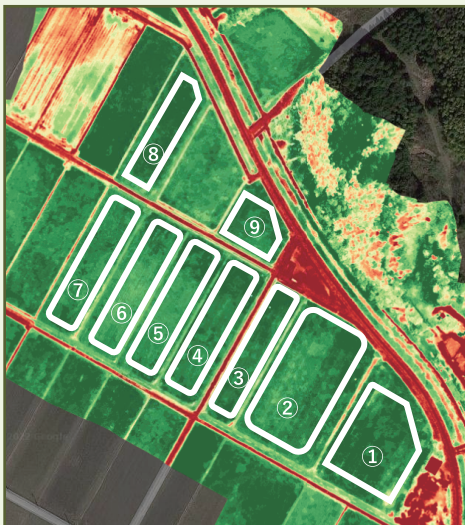
農業普及センターの現地確認・SPAD 調査
により作業判断を助言

追肥をドローンで実施

作業

散布用ドローンのシェアリングで
適切な時期に追肥可能

生産者目線とは別の角度から専門技術者の理論的な助言が加わることでより適切な作業に



| NO. | VARI平均値 |
|-----|---------|
| ① | 0.16 |
| ② | 0.15 |
| ③ | 0.17 |
| ④ | 0.17 |
| ⑤ | 0.15 |
| ⑥ | 0.14 |
| ⑦ | 0.15 |
| ⑧ | 0.17 |
| ⑨ | 0.16 |

1. パネル測定
SPAD 値 35 / VARI 値 0.16
2. SPAD 値 35 未満 / VARI 平均値 0.15 以下を
追肥実施基準
= ② ⑤ ⑥ ⑦
3. 生産者判断にて追肥筆を決定
= ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧



お問い合わせ

詳細や手順について、オンライン会議(zoom)にてご説明させていただきます。
右記 QR コードに必要事項をご入力ください。

